

「サイファー」

記入者：寛治



あ、今日は交換日記を書く日や
そんなことを仕事中に思った。
チャクラダイナミクスは企画に真面目である。

前回の日記の続きを書きたいと思う。

ナマズと一緒に釣りに行った夜、ラプタとサイファーをしようと約束をした。
当時フリースタイルが出来なかったオレは正直不安に思っていた。
後日、ラプタのブログには【フリースタイルハニワシップ vol.1】と題し、公園
でやるサイファーの詳細が書かれていた。
そこに参加者として「寛治 担当：ラップ・打楽器」と書かれていた。

打楽器！？

体一つで行けばいいと思っていたが急遽打楽器を用意することになった。
悩んだ末、姉が新婚旅行で買った土産物のジャンベを借りることにした。
※ジャンベ：民族楽器の太鼓
ジャンベのことなんて何もわかってないが、それらしく叩いてたらいいでしょ！
みたいな軽い気持ちで持って行くことにした。

当日、ラプタと公園で合流し、フリースタイルハニワシップ vol.1 が始まった

俺は、持ってきたジャンベを出すと、ラプタから「おお！」と良いリアクション
が来たので、かなりイキった感じで叩いてた。
そして、ラプタが持ってきたのは、鍵盤ハーモニカと竹で作られた謎のオリジナル
楽器だった
ラプタはその謎の竹楽器をポコポコ叩いてビートを刻みラップを煽ってきた。
そこでフリースタイルラップを初めてやったのだ
ラプタが竹を叩く音に乗せながらぎこちないラップを披露し、フリスタ童貞を卒
業した。

ラプタは俺とは違って慣れたようにラップをする
俺はレベルの差にビビってラップからジャンベに逃げた。

それっぽい雰囲気を出しながらジャンベを叩いていると、「やっとなるやっとなる」
と声がして数人の男が集まってきた。
酔っ払いが絡んできたのかと思ったが、どうやらラプタのブログを見てサイ
ファーを見に来たらしい。
正直、人なんか来ないと思っていたので、驚いた。
話を聞くと皆DJをやっている、同じ地元の先輩であることがわかり、よく見る
とその中には、近所の兄ちゃんもいた。

近所の兄ちゃんもいるし、恥ずかしさからラップせずにジャンベばかり叩いてい
ると

「やっとなるやっとなる」と声がして
今度はプロ用のジャンベを担いだ男が2人現れた。(うそーん)

ここから俺はジャンベすら叩けなくなる

ガチのジャンベ奏者の登場により、姉の家の玄関に飾ってあっただけの土産物
ジャンベを隠したくなった。
恥ずかしいと思ったのだ

俺は再びラップをやり始める

本気のジャンベ奏者も加わったことで迫力が増し、ラップの上手い下手とか関係
なく皆が盛り上がり始め、気付けば近所の兄ちゃん(森寝具店)も竹を叩きなが
らラップしていた。

その時、なにか一つになった感覚があって、俺も羞恥心が消えてひたすらラップ
をし続けた。
皆と一緒にサイファーをしている中、恥ずかしさが消えた瞬間のラップは本当に
気持ちよかった。
そもそも恥ずかしいという感覚はどこから湧いて何のためにあったんだろう？と
思う。
この日集まった皆は、純粹に遊びを楽しんで一つになっていたから、俺も本気で
楽しめたんだと感じた。

人なんか集まらないでひっそりと始まってひっそりと終わると思っていたサイ
ファーだったが、
ラプタのエネルギーが皆を引き寄せたんだと今なら思う。
何故なら、そんな皆を巻き込んでラプタはチャクラ全開チャクラダイナミクスを
立ち上げて勢いを増していくからである。

長くなったので、今日はこの辺で終わろうと思います。